

5. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング（株））

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (東海)	良くなる	一般小売店〔土産〕 (経営者)	・10月までは式年遷宮の諸行事が続くため、夏ごろからはますます人出が増える。
		コンビニ(店長)	・3、4月を迎えて暖かくなり、人出が増えて、客の購買意欲も高くなり、売上、売上単価共に良くなる。
		旅行代理店(経営者)	・テレビやラジオでは、景気が良くなるというニュースが流れている。
	やや良くなる	商店街(代表者)	・底力を見せてきている。これからもどんどん調子良く買物してもらえと思う。
		一般小売店〔結納品〕 (経営者)	・政権交代により、景気対策が多少は効果を生むのではないか。
		一般小売店〔酒類〕 (経営者)	・取引先の飲食店への来客数は、まだまだ安定的には増えていないが、わずかに増える方向にある。
		一般小売店〔書店〕 (経営者)	・政権交代したのが、一番の原因である。景気は気から変えていく姿勢が、全面に出ている。良い商売をやっている者にとっては、とても良いことである。すぐには変わらないかもしれないが、徐々に上向くのは間違いない。
		一般小売店〔和菓子〕 (企画担当)	・新政権になり、期待感がある。良くなるのではないか。
		百貨店(企画担当)	・新政権が新たな景気向上策を打ち出しているため、瞬間的に景気が上向き可能性がある。また、その先に消費税増税を控えているため、駆け込み需要も景気を後押しする。ただし、消費税増税後への不安から、不必要な物は購入しない傾向は、より顕著になる。
		百貨店(経理担当)	・経済対策を始めとする新政権への期待から、当面、消費マインドの改善傾向は続く。
		百貨店(販売促進担当)	・当面はアベノミクスと株価上昇等の効果により、景気マインドは上向き状態が続く。
		百貨店(経営企画担当)	・株高、円安などにより、雰囲気やマインドは少しは良くなるのではないか。景況感が良くなることには、購買意欲につながる。新政権の経済対策の効果も、少しずつ現れてくるのではないか。
		百貨店(販売担当)	・マクロ環境の変化が、消費者に影響を及ぼす可能性はある。企業の業績が向上すれば、消費が上向き可能性もある。ただし、天候や気温などの自然現象と、世の中へ影響を及ぼす事件、事故がないことが条件になる。
		百貨店(販売担当)	・消費税増税が実施されるまでは、駆け込みの購入で少しは良くなる。
		スーパー(経営者)	・円高、デフレが長く続いたが、徐々に円安になり、デフレも正常に戻りつつある。春先からは輸出や公共投資も増え、景気が良くなる兆しが出てくる。景気の底は2月ごろになり、3月ごろからは良くなっていく。
		スーパー(店長)	・消費税増税の実施までは、インフレ傾向が続き、消費は拡大する。
		スーパー(支店長)	・政権交代し、期待を込めている。具体的な理由は見つからないが、景気対策に期待する。
		スーパー(商品開発担当)	・厳しい状況に変わっていないが、株高や円安で、ここ数年にはない状況になっている。お祝いやバレンタインデー等に期待する。
		コンビニ(店長)	・景気回復の兆しが見えてきて、消費マインドが上向いてくることに期待している。
		コンビニ(商品開発担当)	・公共事業の復活に伴い、米飯を始めとするファーストフードの販売に期待が持てる。
		家電量販店(店員)	・既に底を打っているため、これ以上悪くはならない。来月は各社が新製品を発表し、良い商品が出てくるため、多少は伸びる。
		家電量販店(店員)	・期待感を込めて、やや良くなる。ただし、現状の流れのままでは、不安もある。
		家電量販店(店員)	・政府が予算をばらまくため、お金は出てくる。そのことに期待すると、やや良くなる。
	乗用車販売店(経営者)	・自動車ディーラーでは、決算期に入る。また、進学、就職などで、客の動きが良くなる。	
	乗用車販売店(従業員)	・客の流れが、良くなってきている。また、会社が増販できる施策を展開するため、決算イベントも重なって、予想以上の受注が見込まれる。	
	乗用車販売店(従業員)	・新政権には少し安定した計画が見られるため、多少良くなる状態が続く。	
	乗用車販売店(総務担当)	・客の様子を見ると、明らかに前年とは違って、景気回復に対する期待感がある。	

住関連専門店（営業担当）	・住宅建築全般が、消費税増税の前に完成する。リフォーム物件も、職人の不足や労務費の値上がり、資材価格の高騰が出始めており、早めに着工したほうが良いとの需要が出始めている。
その他専門店〔雑貨〕（店員）	・3、4月になると、進・入学、入社、異動等に伴い新生活が始まり、商品に動きが出る。
その他専門店〔雑貨〕（店員）	・新生活準備の時期が到来する。ゆっくりではあるが、ゴールデンウィーク、お盆と買い足し需要が続く。
観光型ホテル（販売担当）	・前年の同時期と比べて、2、3月は一般宴会の受注が良くなっている。2月は前年に特需があったため前年実績とほぼ変わらないが、3月は30%以上も伸びている。ともに、現時点で予算目標を上回っている。
都市型ホテル（経営者）	・金融政策、財政政策、脱デフレ戦略等々に対する期待が、非常に高い。これが、企業の力に結び付くことに期待する。景気が回復するのは、それからではないか。
都市型ホテル（営業担当）	・政権交代に伴う円安で、自動車関連の製造業を中心に、景気が良くなるのではとの期待感がある。そのため、年度末を迎える企業の利用が増える。
旅行代理店（経営者）	・新政権の政策に対応し、景気が良くなる気配を感じている。当業界では、円安になると若干影響はあるが、それよりも客の景気が良くなれば受注も増える。
旅行代理店（従業員）	・会社の創業・設立の周年記念旅行を実施する企業が、多くなってきている。社員の海外旅行等を計画する企業も多く、少しずつではあるが、企業の体力が付いてきた。新政権によって政局が安定し、円安によって企業収益が安定すれば、一層良くなるのではないか。
タクシー運転手	・朝や日中のタクシー利用客の動きは、現状のままである。夜の繁華街の動きが、今月そのまま推移すれば、3か月後の送別会、歓迎会の時期には上昇してくる。新政権の景気対策への期待感もある。
通信会社（企画担当）	・政権交代によって、景気対策への期待感が高まっている。
観光名所（案内係）	・新政権に期待している。数か月先に景気が良くなってくれないと困る。
ゴルフ場（企画担当）	・3月ごろまでの予約数は、前年の同日と比べて大変好調である。2～3か月先の景気は良くなる。特に大型ゴルフ場の予約が大変好調であり、景気は上向いている。
美顔美容室（経営者）	・4月からキープキャンペーンが始まるため、新規顧客が少しは増えて、販売量が増える。
美容室（経営者）	・2～3か月先は梅・桜のシーズンで、暖くなるため、客の出足も良くなる。
その他サービス〔語学学校〕（経営者）	・例年、生徒数が増える時期を迎える。
その他サービス〔介護サービス〕（職員）	・3月は介護保険の年度末であるため、需要の掘り起こしで、売上増加が見込める。
設計事務所（経営者）	・政権が変わって、期待を込めている。
変わらない	
商店街（代表者）	・中小企業が衰退していく現状を見る限り、景気が良くなることはありえない。このままでは格差が生まれるだけであり、デフレ脱却、景気回復は極めて難しい。
商店街（代表者）	・株価は上がっているが、これから税負担が増えていくため、消費がどうなっていくかはわからない。
商店街（代表者）	・悪い状態からは、少しずつ脱却しつつある。しかし、単にそう思うだけであり、根拠はない。
商店街（代表者）	・数か月先も、変わらない。当店では、個人客の来客数は微増、客単価は低下の傾向が続いている。また、法人需要が回復しない限り、本当の意味での売上回復にはならない。
商店街（代表者）	・地域の家電専門店では、景気にあまり左右されないと思われるシルバー世代に対して薦められる商品が少ないので、現状維持が精一杯ではないか。
一般小売店〔土産〕（経営者）	・悪くなる要因は特にないが、この2、3か月間で急激に良くなることもない。7月になると遷宮行事が始まるため、平成28年の正月まで当地は好景気になる。
一般小売店〔時計〕（経営者）	・景気対策が、すぐに効果を出すとは思えない。
一般小売店〔生花〕（経営者）	・アベノミクスへの期待がないわけではないが、政策の効果が出るのは、まだまだ先の話である。そこまで持ちこたえられるかどうか、問題である。
一般小売店〔贈答品〕（経営者）	・贈答品店は、ここ2、3年間で急激に落ち込んできた。落ち込むところまで落ち込んだため、今の状態がある程度続く。
一般小売店〔自然食品〕（経営者）	・小手先の政策だけでは、生活者の景況が改善することはない。給料が増えるなど、実際に収入が増えないと消費もできない。

一般小売店〔食品〕 (経営者)	・このところの円安で、ガソリンや輸入原材料が値上がりする。その反面、賃金水準は依然として横ばいか、低下さえしている。これが、商売を非常に圧迫している。政策効果が出るまでには時間がかかるため、数か月間は景気の低迷は避けられない。
一般小売店〔薬局〕 (経営者)	・60歳以上の一部の人はお金を持っていて、良い商品に対する購買意欲は高い。しかし、一般の人はお金に余裕がない様子である。必要な物でも、少ない量の品物を購入する傾向が強い。ただし、今後はインフルエンザと鼻炎の流行で、多少良くなる。
一般小売店〔果物〕 (店員)	・3か月ほどでは変わらない。
百貨店(売場主任)	・当地はブランド好きの人が多く、新しいブランドや他人と違った商品を探している人が多い。高い値段の商品を買う人と、買わない人とがはっきりしている。紳士靴は、なかなか厳しい。今後も、今と同程度の売上で推移する。
百貨店(売場主任)	・購買意欲をかき立てるような動きはなく、このまま買い控えの傾向が続く。
百貨店(経理担当)	・若い女性向けの衣料品が、振るわない。
百貨店(経理担当)	・円安、株高により企業の業績は好転するが、給料に反映されるまでにはまだ時間がかかるという話を、金融機関からよく聞く。
百貨店(販売担当)	・クリアランスセールは前年並みであったが、その後は前年を割っている。セール待ちの様子は、年々大きくなっている。
百貨店(販売担当)	・政府の景気対策などで円安、株高になりつつあるが、消費者が景気浮揚を実感できる部分はまだなく、今後数か月で劇的に変化するとも思えない。
スーパー(経営者)	・一部では明るい話題を聞いているが、中小小売店や飲食店には、まだまだ回ってきていない。今後2～3か月間は、悪い状態が続く。
スーパー(経営者)	・新政権に期待する。
スーパー(店長)	・競争が厳しく、食品価格は下がることはあっても上がることは少ない。人口減少と高齢化により、食品への支出は明らかに減少している。消費者は、適量、1人用といった無駄のない量を求める傾向が強い。当面この傾向は続き、景気回復は難しい。
スーパー(店長)	・政治の動きがまだ読めていない。今後の増税や、それ以外の経費削減など不安要素は多く、良い先行きは見えていない。現状からみると、急に良くなる雰囲気は一切ない。
スーパー(店員)	・今のところ、何も変わっていない。今後は消費税増税等もあるため、それらがどうなっていくのかで、今後の景気が決まってくる。
コンビニ(企画担当)	・これ以上悪化することはないと思われる。消費税増税が始まってどうなるかであるが、各方面から求人が増えてくれば、雰囲気は良くなるのではないかと。
コンビニ(エリア担当)	・今後も今月と同様に厳しい状況は続き、好転はまだ先である。
コンビニ(エリア担当)	・今後は、現在の経済政策に大きく影響される。良い政策を実施したとしても、末端の消費者に影響が出るのは春先になる。
コンビニ(店長)	・ピーク時の来客数が、前年同月と比べて1割ほど減っている。これが増加に向かわない限り、景気が良くなるとは思えない。
衣料品専門店(経営者)	・当店は比較的高額な商品を品ぞろえしているため、急に来客数や販売量が増えることは考えられない。
衣料品専門店(販売企画担当)	・ファッション品の動きが良くなってくれば良いが、原料高になりつつあり、先行きは悪くなる。
乗用車販売店(営業担当)	・客がお金をすぐ使うということは、今後は減ってくる。
乗用車販売店(経営者)	・3月までは、今の状態が続く。ただし、4月以降は少し落ち着く。今後は、消費税増税に伴う駆け込み需要が期待される。
乗用車販売店(経営者)	・今後も様子見の状況が続く。
乗用車販売店(従業員)	・株価も含めて少し良くなりそうであるが、まだよくわからない。
乗用車販売店(従業員)	・特に前向きな兆しがあるわけではない。売れている車や、値落ちせず高くなったスポーツカーもある。しかし、高い車はあまり売れない。このまま、現状が続く。

乗用車販売店（従業員）	・決算期を迎え、法人需要が多少出てきている。来期の見通しは更に厳しいため、今期に購入を考えているとの話もある。若者の免許取得時期でもあり、何とか購入に結び付けていきたい。
乗用車販売店（経理担当）	・景気が悪くなるとも思えないが、本格的に回復するにはもう少し時間が必要である。
その他専門店〔雑貨〕（店員）	・アベノミクスの効果が出てくるには、もう少し時間が必要である。
その他小売〔ショッピングセンター〕（経理担当）	・売上は、前年同月と比べて1.9%減少している。来客数は、同5.4%減少している。平成24年の12か月間で、売上の前年同月比がプラスになったのは4か月であり、マイナスになったのは8か月である。同じく、来客数がプラスになったのは8か月であり、マイナスになったのが2か月、プラスマイナスゼロは2か月である。
その他小売〔ショッピングセンター〕（営業担当）	・好景気に向かう材料はない。
高級レストラン（スタッフ）	・当面、弱含みの基調が続く。株価の回復や円高修正のプラス効果が個人や家計に及ぶまでには、経験上相当の期間を要する。今回もそのようになるのではないかと。
一般レストラン（経営者）	・政治の動向がわからないため、消費者はお金を使うのを控える。
一般レストラン（従業員）	・新政権が大胆な景気対策をしているようであるが、居酒屋のような末端には、効果は出ていない。
スナック（経営者）	・東日本大震災以降は、年々財布のひもが固くなっている。
その他飲食〔仕出し〕（経営者）	・様子見的な感じがあり、マイナス心理が働く。政策が実施されると、一気に元に戻る。
都市型ホテル（支配人）	・宿泊予約には、積み上がりが見られない。
旅行代理店（経営者）	・景気の向上が体感できるまでには、最低半年はかかる。今年度中は難しい。
旅行代理店（経営者）	・給料は増えておらず、増税など先行きの悪い話題が多いため、財布のひもは緩まない。ほっとできる経済対策が欲しい。
旅行代理店（経営者）	・消費税増税を前にして、必要な大型消費財の駆け込み需要は増えるが、旅行のような消費財は増えると思えない。今後は外国人旅行者を増やすためにも、様々な分野で規制改革が必要である。現在の成長戦略を軌道に乗せるには、もっと現場の状況を知るべきである。
旅行代理店（従業員）	・新政権になり、インフレ傾向になっているが、効果が出るにはまだまだ時間がかかる。もうしばらくは、景気が悪い状態が続く。
タクシー運転手	・長い間、夜の繁華街では飲食客数が少ない状況が続いている。政治が変わり、財布のひもを緩められる政策が実行されれば、少しは変わる。今の状態では変わらない。
タクシー運転手	・一部の企業が良だけで、財布のひもはまだ固い。
タクシー運転手	・政権が変わり、景気対策にかなり力を入れているため、気分的には良くなるが、実際にどうなるかはわからない。2～3か月先は現状のままである。
通信会社（営業担当）	・設備更改による受注が主であり、新規受注の低迷が続くそうである。
通信会社（営業担当）	・景気回復に向けた政府の各種施策等が景気回復への第一歩であると思うが、財源等が不明確、不明瞭な点もあり、国民としては将来への不安も大きい。
テーマパーク（職員）	・スキー場でも、来客数は上向いている。しかし、温泉客数は伸びておらず、まだ節約型のレジャー動向と感じる。
テーマパーク（経営企画担当）	・厳しい寒さの予報が出されたため、今後も現状並みが続く。
美容室（経営者）	・株価などが徐々に上がり始めているが、ガソリン代も値上がりしてしまい、逆に悪くなっている。
美容室（経営者）	・かなり前と比べると、良くなってきている。このまま今の状態が続く。
設計事務所（経営者）	・案件数の少なさと単価の低さは、全く改善する兆しが無い。
住宅販売会社（従業員）	・消費税増税に伴う消費者の負担増のみならず、便乗値上げもある。住宅の新築は増えるかもしれないが、金利の上昇も考えると、客は二の足を踏んでいる。
その他住宅〔不動産賃貸及び売買〕（経営者）	・景気が上向くような、期待感のある話を関連職種の人からよく聞く。しかし、実際には、来客数、契約数共に、良くなる兆しは感じられない。
やや悪くなる	百貨店（営業企画担当） ・大規模商業施設の開店が間近に迫っており、それに向けた商圏内の競争は激化する。

		スーパー（店長）	・売上を回復させるため、価格対応せざるを得ない状況が続いている。今後も、更に厳しい状況が続くそうである。
		スーパー（店員）	・円安方向に向かっており、原油価格の高騰分が商品に転嫁されるのではないかと不安が頭をよぎる。
		スーパー（店員）	・まだまだ競合店が増えていく傾向があり、見通しは良くない。
		スーパー（営業担当）	・政権が変わって、景気浮揚への期待感は増幅しているが、3か月間で良くなる変化は期待できない、悪くなる要因のほうが大きい。
		スーパー（販売促進担当）	・4月になると、近隣に大型商業施設が新規オープンする。今年も厳しい数字が続く。
		コンビニ（エリア担当）	・競争はますます厳しくなり、商圈は小さくなっていく。
		乗用車販売店（販売担当）	・クリーンディーゼル車は人気であるが、3月からのエコカー補助金の動向が不透明であるため、動きは鈍くなる。
		その他専門店〔貴金属〕（店長）	・消費者の購買意欲は、少し上がったように見える。しかし、景気の回復には時間がかかる。
		一般レストラン（スタッフ）	・最近の株価を見ていると、今後は良くなるのではないかと。
		都市型ホテル（経理担当）	・レストランの利用客数が減少している。
		通信会社（サービス担当）	・工事費割引の現キャンペーンが終了した場合、受注は減る。
		パチンコ店（経営者）	・当業界では低価格競争が徹底されてきているため、大規模店舗の優位が進んでいる。
		理美容室（経営者）	・客との会話では、株価や円安が進んでも、生活に関係する物は安くならないため、良くならない。
		設計事務所（職員）	・政権交代し、景気が良くなる雰囲気はあるが、具体策はない。公共事業にしても、必要な公共事業を実行するやり方にしない限り、変わらない。
		その他住宅〔室内装飾業〕（経営者）	・今月はホテルの全室改装工事を受注したが、年度末にかけての見積依頼等の引き合いは少ない。
	悪くなる	コンビニ（店長）	・室くじの販売に加えて、サッカーくじの販売も始める。しかし、競合店対策としては弱い。その他の対策は、なかなか思い浮かばない。
		観光型ホテル（経営者）	・2～3か月先の予約数は、前年同月比15%減になっている。4月は更に悪い見込みである。株高、円安等で雰囲気は良いが、レジャー産業や宿泊産業にはまだ影響が出ていない。具体的に実体経済が動いてくれれば良いが、まだまだ暗闇の中である。
		都市型ホテル（従業員）	・予約数は悪くなっている。
		テーマパーク（職員）	・近隣では廃業する店が増えている。観光客数も少ない。
		理容室（経営者）	・当分、景気が良くなるとは思えない。財布のひもは固くなるばかりである。
		住宅販売会社（経営者）	・所得が減っているため、買い控えというより買えないという状況にある。消費税増税も控えており、複雑な状況である。
	良くなる	窯業・土石製品製造業（経理担当）	・新設住宅着工件数が増加している。
企業動向関連 (東海)	やや良くなる	食料品製造業（経営企画担当）	・円安は当面続くと思われる。輸出関連企業を中心に景気の持ち直しを期待できる。これが国内消費の活性化につながるかどうかは、まだわからないが、緩やかでも改善方向に向っていることは間違いない。
		化学工業（企画担当）	・政権交代による期待感の高まりから、円安、株高の傾向が出てきており、輸出産業を中心に利益は回復すると予測される。景気は緩やかな改善傾向にある。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・2013年上期の営業動向を見ると、受注量は増加する見込みである。
		電気機械器具製造業（企画担当）	・円安の流れが定着すれば、売上、利益共に改善を期待できる。
		輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	・客先の新機種の立ち上がりによって、利益の上向き傾向はしばらく続く。
		輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	・円安で、完成車メーカーの生産量が増える。また、最近になってスクラップの価格が上がってきているが、スクラップの価格は景気を取引するため、景気は良くなる。
		建設業（経営者）	・アベノミクスの効果を実感しつつある。今しばらく、このまま推移する。
		建設業（営業担当）	・主力の浄化槽の受注は、家が建ち始める時期に増えるため、売上は増える。
		輸送業（経営者）	・住宅設備関連の物量が、消費税増税前の駆け込みによって、増加し始めている。

	輸送業（エリア担当）	・東海地域は輸出企業が多いため、輸出貨物が増加する。
	輸送業（エリア担当）	・新政権の影響で株高、円安になっているが、これでマインドは上がっていく。景気が良くなってから数か月後に、荷物量が動き出してくるため、数か月先には荷物量は徐々に上向いてくる。
	輸送業（エリア担当）	・雰囲気は悪くない。社内でも、決算に向けて経費節減を指示されるが、そのトーンは以前ほど高くない。その一方で、物量増に対応できる体制を構築している。
	通信会社（法人営業担当）	・政権交代に伴う円安、株高、大型補正予算の実施により、企業マインドは高揚している。米国経済の安定成長も見込める。日中関係の改善も見込め、対中貿易の回復等々、好材料が多々見られる。
	金融業（法人営業担当）	・最近の円安も反映し、取引先の自動車部品メーカーでは、受注量が総じて増加している様子である。今後の生産増加も見込まれる。
	金融業（企画担当）	・新政権による各種政策への期待感という心理的要因が大きいが、当面は円安、株高が続くことから、個人消費が増え、景気は良くなっていく。
	不動産業（開発担当）	・政権交代の影響に加えて、消費税増税前の駆け込みの動きも見られ始めている。
	企業広告制作業（経営者）	・少なくとも参議院選挙までは景気は良くなる。
	公認会計士	・実体経済の回復には多少の時間がかかるかもしれないが、アベノミクスに対する期待感がある。消費税増税前の駆け込み需要もある。
	行政書士	・事業に動きを感じる。
	経営コンサルタント	・消費税増税前の駆け込みで、住宅新築の動きがある。それをてこに、景気は上向いていく。
	会計事務所（職員）	・財政出動、金融緩和によって、ここ数か月間は良くなる。
	その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	・半年間は、良い状態が続く。しかし、日本だけではデフレは解消しない。世界全体で立ち向かわなければ難しい。4か月ほど先には、何らかの結果が出る。
変わらない	パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	・円高、株価上昇と景気の良い話を聞くが、これが実際の受注量、販売量につながるかどうかは不明であり、今後も現在とあまり変わらない。
	化学工業（人事担当）	・不透明である。現在の円安水準が安定すれば、株価も上昇し、消費者の意識が変わって財布のひもは緩むであろうが、企業の業績が上向くまでにはもうしばらく時間がかかる。
	鉄鋼業（経営者）	・需要の先食いが長く続くとは思えず、3月上旬には失速しそうである。
	金属製品製造業（経営者）	・年度末を控えて、2～3か月後の引き合いは減少している。
	金属製品製造業（従業員）	・原材料の値上げ傾向が気になる。
	一般機械器具製造業（営業担当）	・円安のままであれば、受注を取れる可能性は高い。しかし、円高に戻れば、今抱えている引き合いも消えてしまうので、楽観はできない。
	電気機械器具製造業	・2、3か月先では、大きな変化は期待できない。
	電気機械器具製造業（経営者）	・取引先の来年度の設備投資計画がはっきりしないため、今とあまり変わらない。
	電気機械器具製造業（経営者）	・為替もまだまだ不安定であり、ここ2～3か月間で輸出が伸びる可能性は低い。国内需要も停滞気味であり、短期間で改善される環境にはない。
	輸送業（従業員）	・例年この時期の荷動きは低調であるが、月末になり前年を下回っている。政権交代で円安傾向が続いており、燃料の軽油やフェリー料金が値上がりし、先行きが不安である。物流業界は大変厳しい。
	輸送業（エリア担当）	・主要荷主からは、明るい話題は聞かれない。
	不動産業（管理担当）	・景気の上昇期待はあるが、各メーカーや取引先では賃貸業の固定費圧縮に走っているため、まだまだ上昇局面は遠い。
	広告代理店（制作担当）	・取引先からの積極的な依頼等はほとんどなく、全体的に価格の設定を抑えられているため、あまり期待はできない。
	新聞販売店〔広告〕（店主）	・新聞の購読率が減っている。折込広告は、パチンコ店の広告減少が痛い。
会計事務所（社会保険労務士）	・景気が悪くなったと皆が感じ始めてから、ずいぶん長くなった。我慢や節約も、日常のことになっている。良くなる材料を見つけれない。まだしばらくこのままの状態が続く。	
その他サービス業〔広告印刷〕（従業員）	・変化していく要因は、全く見つからない。本当に動きが鈍い。	
やや悪くなる	紙加工品〔段ボール〕製造業（経営者）	・段ボールの生産量が停滞しているなかで、販売価格は低下傾向にある。収益率は更に悪化しそうである。

		印刷業（営業担当）	・周囲を含めて、あまり良い話は聞かれない。倒産する会社も増えており、景気が良くなっている感覚は全くない。新年に入ったため、これから変わっていくかもしれないが、急に変わるとは思えない。
		金融業（従業員）	・瓦業界など景気の良い業界もあるが、当地の主力である自動車関連は、例年に比べても良くない状態が続いており、今後の見通しもほとんど立っていない。
	悪くなる	窯業・土石製品製造業（社員）	・月末になって、スマートフォン関連の部品のダブつきが明らかになった。これを製造するための耐火物の使用量も、5分の1になるとの連絡が入った。4月以降も不透明であり、業績悪化は避けられない。
雇用 関連	良くなる	人材派遣会社（営業担当）	・円安による輸出への効果は大きい。当面は円が大きくなることもなさそうに感じるため、まだ上昇傾向は維持できる。
(東海)	やや良くなる	人材派遣会社（経営企画）	・現在は予算調整に入っているが、年度明けからの引き合いはよく聞かれる。
		人材派遣会社（社員）	・総務、経理、人事の事務管理部門の正社員求人が増えている。
		人材派遣会社（営業担当）	・金融政策への政府の積極的な働きかけにより、物価上昇や企業の賃金改定に、明るい話題が期待できる。
		人材派遣会社（営業担当）	・夏の参議院選挙までは、政策への期待から、この状況が継続する。
		人材派遣会社（支店長）	・派遣社員を契約社員へと直接雇用化してからまもなく3年が経過するが、一部企業では契約社員の雇止めによる派遣依頼が出始めている。今後の動向はまだ読めないものの、派遣求人がある程度増加することが予想される。
		アウトソーシング企業（エリア担当）	・新型車種の販売数は生産計画を上回っており、好調に推移している。
		職業安定所（所長）	・自動車関連製造業の3月末までの生産は、事業所によってばらつきはあるものの、前期と比べてやや増加する。4月以降の生産は、円安等の影響により、現在よりも増加する。新規求人も微増する。
		職業安定所（職員）	・新規求職者数は落ち着いた動きとなっており、新規求人数は増加を続けているため、横ばいに推移していた有効求人倍率は再上昇に転じている。
		職業安定所（職員）	・かなりの円安になってきたため、この状態が続くようなら、2～3か月先の求人数は、製造業を中心に良くなっていく。
変わらない		人材派遣会社（経営者）	・派遣会社では、人材がいなければ売上が立たない。ハローワークにずっと求人を出しているが、集まらない状況が続いている。将来的にも、この状況は変わらない。
		人材派遣会社（社員）	・今月が好調なので、今後も変わらない。しかし、現時点の予約状況は、例年に比べると良い状況にある。
		新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・物価が上昇しても、賃金が増えない限り、良くはならない。
		職業安定所（職員）	・円安、株高等に対する期待は高まってきているが、事業の縮小や撤退など、厳しい状況にある中小企業が多い。実感としては、悪い状況が変わる気配は見られない。
		職業安定所（次長）	・雇用面からは、判断できる材料が乏しい。当面変わらない。
		民間職業紹介機関（営業担当）	・円安の影響で製造業では景気が良くなっていると思われているが、これが採用の動きに直結するかどうかは、ここ2、3か月間ほどを見てみないとわからない。
		学校〔専門学校〕（就職担当）	・従来は採用の多かった地元の製造メーカーでは、中国語に堪能で検定資格取得者という採用枠を、前年に引き続き見送っている。
やや悪くなる		職業安定所（職員）	・円安により、輸出を中心とした大手製造業では、回復への期待があるかもしれない。しかし、地元の中小企業からは、ガソリン価格等の上昇が経営を圧迫するとの懸念がある。労働者の賃金上昇、求人数の増加への効果があるかどうかは、現時点では不透明である。
悪くなる		-	-